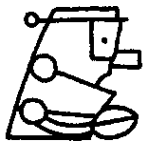




小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /
人とかんきょう / 理解シート

ケナフは、なぜ地球かんきょう保護に役に立つの



^{おんだんか}地球温暖化の原因といわれる空気中の^{きゅうじゅう}二酸化炭素をよく吸収し、紙の材料にもなるから、森林を守ることにもなるのさ。

ケナフは、紙の材料になり、木材を切る量をへらすのに役立つ

ケナフは、アフリカ原産の1年でかれてしまう草で、フヨウやムクゲと同じなかまです。1週間で30cmものびるほど生長が早く、背^せたけは3～5mにもなります。9月ごろ、オクラに似た黄色の花がさき、種がとれます。

ケナフは、質のよい紙をつくる材料になり、同じ面積なら木よりたくさんとれます。ケナフを使えば、紙の材料の木を切らずにすみ、森林を守ることができます。

ケナフは、多くの二酸化炭素を吸収して、温暖化防止に役立つ

植物は、葉の中で日光の助けをかりて、空気中の二酸化炭素と根から吸い上げた水で栄養(デンプン)をつくって生きています。このとき、酸素もできてきます。

最近、地球の平均気温が上がってきていて、その原因は、空気中に二酸化炭素がふえたためともいわれています。人口がふえたり、工場や乗り物のエンジンなどが燃料を燃やしたときに出る二酸化炭素の量もふえているのに、地球上から森林がへっていくため、空気中の二酸化炭素がふえてきているのです。

ケナフは、同じ面積なら、森の木の約1.5～4.5倍の二酸化炭素を吸収するので、温暖化防止に役立つといわれています。

地球の気温が上がると、南極や北極などの氷がとけだし、海水面が上がって低い土地は海の中になるし、砂^さばくが広がり、たくさんの生き物が死んでしまうと考えられています。そのため、それを防ぐ方法が、世界中で研究されています。



ケナフと花